

令和7年度 第2回美術館協議会議事録

1 日 時 令和7年12月18日(木) 午後3時～午後4時

2 開催場所 みき歴史資料館 3階講座室

3 議 題

(1) 報告事項

ア 令和7年度 事業実施状況

① 入館者数

② 企画展別入館者数

イ 令和7年度 後期展示事業活動計画

(2) 協議事項

ア 令和8年度 展示事業計画(案)

イ 令和8年度 展示事業活動計画(案)

(3) その他

4 出席者

(1) 委員 山下泰生会長、石田満美副会長、藤原義明、山崎淑校長、米村環、
高谷美貴子

(2) 事務局 森田教育総務部長、大西文化・スポーツ課長、佐藤文化・スポーツ課
文化芸術係係長、向山館長、和田専門員、橋本事務補助員

5 公開・非公開の別 公開

6 傍聴人の数 0人

1 開会

2 事務局報告

(1) 報告事項

ア 令和7年度 事業実施状況

- ① 入館者数
- ② 企画展別入館者数

イ 令和7年度 後期展示事業活動計画

事務局：

パワーポイントの映像と資料Iを使って説明

令和7年度の展覧会の報告、後期展覧会とワークショップの内容の報告

「きらきら書道25周年記念きらきらアート展」

- ・アートで遊ぼうというテーマで「絵を描きたい、何か作りたい、触ってみたい」と思う気持ちをすぐに実現できるような体験コーナーを設置。
- ・触ってみようというコーナーを設置。社会福祉協議会に依頼して作家名と挨拶文の点字を制作し提示した。目の不自由な方が来館された時に、作品に触れたり、大きい筆を持ったり、作品を直に触って楽しんでいただくことができた。今後も取り入れるようにしたい。

委員：

アート・ティーン公募展、まだまだ応募数が伸びるのではないか。募集要項のチラシはどこまで配布されているのか教えていただきたい。

事務局：

チラシは、市内中学校高校と神戸市は西区北区、小野市、加西市、加東市、西脇市、加古川市の中学校と北播磨管内県立高校の美術部に配布している。

委員：

広報として、NHK神戸が6時半から地域のニュースを放映されているが、広報担当者と調整して、NHKやラジオ関西など、広域にPRできないか。応募数が増えれば良いというものではないが、積極的に公募展のPRをして欲しい。

きらきらアート書道展、障がい者アートに力を入れていただいていることは、非常にありがたく嬉しいこと。来年度以降も年1回、書道だけでなく、他の分野の障がい者の作品展を開催できるように考えていただきたい。目の不自由な方あるいは聴覚障害のある方、誰でも来ていただけるような美術館になって欲しい。美術館は誰でも来ていただいて結構ですよという雰囲気になりつつあるので、それをさらに推し進めていただきたい。

委員：

アート・ティーン公募展について、木彫の出品は一点だけだった。出品を増やせるような対策はあるか。

事務局：

材料がないということ、道具の使用が危ないということがあり学校で木彫を指導することが難しいようだ。どのように解決したらいいかが課題となっている。三木は金物のまちなので、木彫部門は続けたい。

委員：

怪我をしたら危ないという考えはあるが、正しい使い方を教えることができるのではないかと。子どもたちが三木市ならではの道具を使用して、木を削ったり製作をしたりすることが盛んになればいいと思う。

(2) 協議事項

ア 令和8年度 展示事業計画(案)

イ 令和8年度 展示事業活動計画(案)

事務局：

資料2を使って説明

委員：

書写の里の閉館に伴って、書写の里が所蔵する形紙が堀光美術館に無償で譲渡されると聞いたが、大々的に取り上げて展示される企画はあるか。

事務局：

姫路市立書写の里工芸館から三木市へ365点の形紙を寄贈いただけるというお話をいただいている。事務手続き等で間に合うようであれば2月の形紙展でご紹介したい。

副会長：

5月23日から6月21日の鬼展の現代アートについて、出品してくださる候補者はいるか。

事務局：

鬼展は心当たりのある先生方には承諾いただいている。数人の作家さんにご協力いただき、それぞれの鬼を展示しようと考えている。6番の三木市ゆかりの芸術家の企画展では、過去に文化芸術で表彰された先生方の作品を展示させていただくということで調整していく。

(3) その他

事務局：

資料3を使って来館者状況について説明。

10代、20代の年齢層の来館者が少ないので、学校へのワークショップによ

る訪問など中学生や小学生に芸術を楽しんでもらう機会を作っていきたい。

委員：

今は携帯のナビで来館される方は多いと思うが、大塚大手の信号にある堀光美術館の案内矢印の看板が、上の方にありすぎて通り過ぎてしまう可能性があるのではないか。表示はもう少し下につけることはできないか。

事務局：

看板については付けたばかりなので、別の方法を考えている。美術館周辺、三木駅、上の丸近辺を回遊していただけるようなサイン表示の計画を関係課と協議しているところなので、しばらくお待ちください。

閉会 会長 挨拶